



100年
を超える歴史
技術・研究力
世界最先端

九州工業大学基金 創立110周年記念

建設事業募金ご支援のお願い

イノベーションの創出
社会を
変革

人工衛星
鳳龍四号
宇宙へ

行動認識
AI非接触
センサー

医療
消化管内
自走式
カプセル



国立大学法人
九州工業大学



九州工業大学基金 創立110周年記念

建設事業募金ご支援のお願い

平素より本学の教育研究活動に対しまして、多大なるご協力・ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

国立大学法人九州工業大学は、2019年度に創立110周年を迎えます。

これまで一貫して「技術に堪能なる士君子」の養成を理念に掲げ、卓越した教育研究活動の推進に取り組んでまいりました。

その結果は、入学する学生の成績や就職率、発表論文や共同研究の実績等に表れており、THE世界大学ランキング日本版2018においては、全国24位、九州地区3位に位置しております。

特に、研究に関しては、IT、ロボット、センサー、先端材料などの社会的ニーズの高い領域で強みを有しており、今後、こうした成果を生かして産業界と協創することにより、一層の研究力向上とともに、企業や地域の発展に貢献してまいりたいと考えております。

おかげをもちまして、近年、産業界からの共同研究への関心も高くいただいております。しかしながら、学内では施設や設備の老朽化が進み、これらのニーズに十分応えられていない現状がございます。

そのため、創立110周年を記念して、老朽化のため使用を停止した旧体育館について、産学協創による研究活動を促進するための先進的な研究施設へと大胆にリノベーションし、効果的に利活用したいと考えております。

つきましては、その再整備を本学だけの力を以って行うことは難しい状況にあることから、関係の皆様のご理解を賜り、是非ともご支援をいただければ幸いです。

施設整備の暁には、イノベーションの創出に寄与する工業系大学として、皆様のご期待にお応えできるように全力を尽くす所存でございます。

本学の更なる発展のため、この募金にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年4月



国立大学法人
九州工業大学
学長

尾家 祐二
Yuji Oie

オープンラボコンプレックス(仮称)の設置

～産学協創を育む未来指向型研究施設に再整備～

課題①

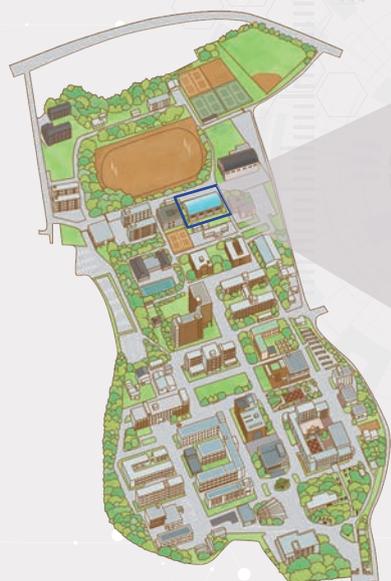


学内施設・設備の老朽化
産業界からの共同研究ニーズに
応えられていない現状

課題②



就職率、発表論文・共同研究の実績等は
上がっているものの、予算の関係で、
施設・設備整備が叶わない現状



旧体育館



リノベーション

目的

- 企業ニーズに応えた独創性の高い研究を推進
- 異分野融合等によるオープンイノベーションを進展
- 優れた若手研究人材を育成+本学の研究レベルの向上

オープンラボコンプレックス(仮称)



特徴

- 多様な研究ニーズに応じたスペースの確保が可能
- 研究設備の搬入撤去が容易で強固な構造
- オープンな環境とセキュアな環境を併せ持つ施設
- 研究者のコミュニケーションスペースを設置

募金概要

Overview



創立110周年記念 建設事業募金

募金の用途

旧体育館(約1,300㎡)をリノベーションし、
オープンラボコンプレックス(仮称)を新設します。

募金目標額

2億円 (総事業費3億円)

募金期間

2019年4月～2020年3月 2021年3月末まで延長

募集金額



個人寄附

1口

1万円



法人寄附

1口

10万円

※できるだけ複数口お願いしますが、金額にかかわらずありがたくお受けいたします。

○募金の状況によっては、学内の他の教育研究施設やセンター等の施設・環境整備に変更させていただく場合がございますので、予めご了承願います。

ご寄附の申込方法について

How to apply

1 金融機関からのご寄附

同封の払込取扱票に必要事項をご記入の上、金融機関の窓口でお振込みください。払込取扱票裏面記載の指定銀行(ゆうちょ銀行、福岡銀行、西日本シティ銀行)をご利用の場合、振込手数料は無料です。

指定銀行以外からのお振込みについては、基金事務局までご相談ください。

TEL 093-884-3004 FAX 093-884-3015 E-mail kikin@jimu.kyutech.ac.jp

必要事項をご記入の上、金融機関の窓口へ



2 クレジットカード等からのご寄附

九州工業大学基金トップページ <http://www.kyutech.ac.jp/fund/kifu/credit.html>

九州工業大学基金について

九州工業大学基金は、財政基盤を強化し、中・長期的に大学の諸活動を支えるため平成28年新設いたしました。本学では、本基金を有効に活用し、開学以来の教育理念を基本とし、志(こころ)と情熱を持ち産業を切り拓く技術者・知的創造者を養成するため、質の高い教育を行います。皆様の格別のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

基金の概要を見る

全てのお知らせ ニュース 寄附の報告 寄附の事業報告

2019年02月14日(木) **お知らせ** 平成31年1月までにご寄附をいただいた方のご芳名を掲載しました。

2019年02月14日(木) **お知らせ** 平成31年1月までの寄附件数、寄附金額を掲載しました。

2019年01月21日(月) **お知らせ** 平成30年12月までにご寄附をいただいた方のご芳名を掲載しました。

2019年01月21日(月) **お知らせ** 平成30年12月までの寄附件数、寄附金額を掲載しました。

2019年01月21日(月) **お知らせ** 九工大サポート会員一貫(個人)を掲載しました。

銀行振込 クレジットカード

銀行振込による寄附 クレジットカード等による寄附

こちらをクリックして
お手続きを進めてください。

ご利用いただけるクレジットカード

JCB VISA

MasterCard American Express

Diners Club

コンビニエンスストアでのお申込

セブン-イレブン ローソン

ファミリーマート ミニストップ

セイコーマート

その他決済サービス

Pay-easy(ペイジー)

税制上の優遇措置について

Tax deduction

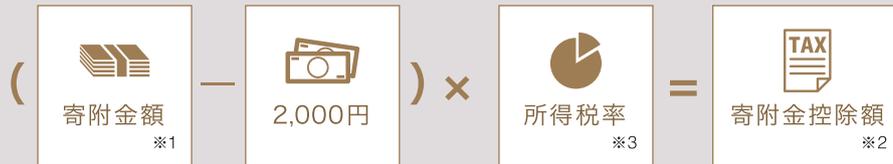


個人の皆様

Ⅰ 所得税

本学へのご寄附は、寄附者が個人の場合、所得税法第78条第2項第2号の「寄附金控除」の対象となり、確定申告を行うことにより、税制上の優遇措置を受けることができます。ご入金が確認できましたら、本学から確定申告に必要な書類(領収書等)を送付いたしますので、お手続きください。

寄附金額から2,000円を差し引いた金額を所得金額から控除します。
所得控除後、所得金額に応じた税率をかけて税額を算出します。



- ※1 控除となる寄附金額は、その年の総所得金額等の40%が上限となります。
- ※2 寄附金控除額は、その年の所得税額の25%が上限となります。
- ※3 所得税率は、課税所得によって5~45%の範囲で変動します。

Ⅱ 住民税(県民税・市町村民税)の控除

寄附された翌年の1月1日現在、福岡県にお住まいの方は、県民税の寄附金税額控除が受けられます。さらに市町村民税については、お住まいの市町村の条例で本学への寄附が寄附金税額控除の対象に指定されている場合は、個人住民税の寄附金税額控除が受けられます。

※詳しくは、お住まいの各自治体の税務担当者へお問い合わせください。

法人の皆様



法人の場合は、法人税法第37条第3項第2号により、寄附金の全額をその当該事業年度の損金に算入することができます。ご入金が確認できましたら、本学から法人税の減税に必要な書類(領収書等)を送付いたしますので、お手続きください。



未来を思考する「モノづくり」と「ひとづくり」

九州工業大学 基金事務局

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1

TEL 093-884-3004 FAX 093-884-3015

✉ kikin@jimu.kyutech.ac.jp

<http://www.kyutech.ac.jp/fund/>

九州工業大学基金

検索

